

議会 だより



令和5年4月20日

いいだ市議会だより

IIDACITY-gikaidayori

No.232

編集/広報広聴委員会 発行/飯田市議会 〒395-8501 長野県飯田市大久保町2534

R80
古紙配合率80%紙

杵原学校(旧山本中学校)の枝垂れ桜

～ 春休み子ども寺子屋の参加者とともに ～



- 第1回定例会……………②
- ズバリ市政を問う(一般質問)…④～⑥
- 執行機関へ政策提案……………⑦
- 議員紹介……………⑫

令和5年

第1回 定例会

2月22日
～
3月20日
開催

第1回定例会開会日における市長提出議案は、「監査委員の選任について」など人事案件8件、「飯田市手数料条例の一部を改正する条例の制定について」など条例案件18件、「工事請負契約の一部変更について（産業用地整備事業龍江インター産業団地整備工事）」など一般案件2件、「令和4年度飯田市一般会計補正予算（第9号）案」、「令和5年度飯田市一般会計予算（案）」など予算案件19件、報告案件2件の計49件の議案が上程されました。

閉会日に、令和5年度一般会計予算（案）に対して「反対」の立場から討論があり、起立による採決の結果、原案のとおり「可決」しました。その他の議案もいずれも原案のとおり「可決」しました。

また、今定例会では、議員及び委員会提出議案を3件提出し、原案のとおり可決しました。閉会日には、産業建設委員会から「水道料金の改定」について閉会中の継続調査の申し出があり、決定しました。

議員及び委員会提出議案について

【発委第1号】

飯田市議会個人情報保護に関する条例の制定について

令和3年の個人情報保護法の改正により、個人情報保護に関する3つの法律と各地方公共団体の個人情報保護条例が新たな個人情報保護法として統合され、令和5年4月に施行されることになりました。新たな個人情報保護法では議会は対象外となるため、新たに飯田市議会の保有する個人情報の適正な取扱いについて必要な事項を定める条例を制定しました。

【発委第2号】

飯田市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について

本会議や委員会の欠席事由を、「公務、疾病、育児、看護、介護、配偶者の出産補助その他やむを得ない事由」と明文化するとともに、出産するため出席できないときは、「出産予定日の8週間（多胎妊娠の場合にあつては、14週間）前の日から当該出産の日後8週間を経過する日までの範囲内において、その期間を明らかにして、あらかじめ議長に欠席届を提出できる」と出産についても産前・産後期間に配慮した規則に改正しました。

【発委第3号】

飯田市議会議員の議員報酬の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について

発委第2号による飯田市議会会議規則の改正に伴い、会議規則との整合性を図るために条例の一部を改正しました。

請願・陳情の調査

今定例会では請願1件及び陳情1件の審査を行いました。

【請願の要旨】

国に対し、再審制度の速やかな改正を求める意見書を提出願いたい。

本請願は、令和4年第4回定例会で「継続審査」とした請願です。閉会中の継続審査を経て、閉会日に総務委員長から審査の報告がありました。「趣旨採択」との報告に対して「反対」の意思表示があり、起立による採決の結果、委員長報告のとおり決定されました。

*審査の状況は、総務委員会（8ページ）でご確認ください。

【陳情の要旨】

国に対し、最低賃金法の改正と中小企業支援策の拡充を求める意見書を提出願いたい。

本陳情について、閉会日に産業建設委員長から審査の報告がありました。「不採択」との報告に対して「反対」の意思表示があり、起立による採決の結果、委員長報告のとおり決定されました。

*審査の状況は、産業建設委員会（10ページ）でご確認ください。

予算決算委員会

予算決算委員会、及び分科会における予算議案の審査の様子は、YouTubeで動画配信しています。



令和5年度飯田市一般会計予算(案)をはじめとした令和5年度当初予算案は13件の議案が提出され、定例会開会日の2月22日の本会議で予算決算委員会に付託された後、委員会で総務・社会文教・産業建設分科会へ分担し、3月1日から3月6日にかけて審査を行いました。

令和5年度飯田市一般会計予算(案)の審査にあたっては、昨年の第3回定例会で行った決算審査と、7月から9月にかけて行った行政評価を基にした議会からの提言が新年度予算にどう反映されているか、といった、議会としての政策サイクルを回す視点を重視しました。さらに審査の活性化を狙いとして各分科会において論点の抽出と整理を行った上で、開会日直前に予算決算委員会準備会で議論を行って議案審査に臨みました。

3月16日の予算決算委員会後期全体会において、令和5年度一般会計予算(案)に対して修正動議の提出がありました。採決の結果、原案のとおり可決しました。

令和4年度 飯伊市町村議会議員研修会 「男だから」「女だから」を越えて ジェンダー(社会的性別)について 共に考える研修会

人口減少が全国的に進むなか、当地域においても特に若年層の女性の社会減が人口減少に大きく影響を与えていることが判明してきました。

進学等により地域を離れた若年女性が戻らない理由として、地方における仕事や地域社会への参画などに「ジェンダーギャップ(男女の、違いにより生じる格差)」があることも要因の一つとして考えられます。

このようなことから、社会的・文化的につくられた「男性像」や「女性像」にとらわれず、個人の意思で自由に行動や発言、選択をしていける地域づくりを考える機会として、令和5年1月19日に開催しました。

講師は、前豊岡市長の中貝宗治さんと、取手市議会議員の齋藤久代さん。

中貝さんからは、地方の最大の課題は人口減少であり、若者、特に女性にとって突き抜けた「豊岡に暮らす価値(魅力)の創造」に取り組まれてきた実践の数々をお聴きしました。



齋藤さんからは、取手市議会の議長として、また、ほかの女性議員と共に議会改革に取り組まれた様子などをお聴きしました。

政務調査研究報告会の開催

市議会の各党派では、政策の立案、提言に生かし、市民益につなげていくことを目的に政務調査を実施しています。

3月16日の政務調査研究報告会で発表した党派とテーマ(視察先)は次のとおりです。

新政いいだ

▼「鹿追型ゼロカーボンシティ」の取り組み (北海道鹿追町)

▼「俱知安e街ギフト(旅先納税)」の取り組み (北海道俱知安町)

会派きぼう

▼「本とアートで、いま日本で一番変化する温泉街(城崎温泉)」の取り組み(兵庫県豊岡市)

▼「人と猫との共生推進協議会」の取り組み (兵庫県神戸市)

会派みらい

▼「ユネスコの食文化創造都市に認定された臼杵市」の取り組み (大分県臼杵市)

▼「佐伯型循環林業」の取り組み (大分県佐伯市)

公明党

▼「あなたが使える制度お知らせサービス」の取り組み (千葉県千葉市)

▼「八王子市立高尾山学園」の取り組み (東京都八王子市)

「一般質問」について

市政全般にわたり、市長をはじめとする執行機関側に、事業の執行状況、将来的な方針などを質し、説明を求めるものです。

質問の方法は、通告した質問項目ごとに区切って質問し、その都度答弁を受ける「一问一答方式」で、質問時間は、各会派に所属人数（議長を除く）×40分が割り当てられ、1議員当たりの質問時間は、質問時間と答弁時間を合計して60分以内としています。

ズバリ 市政を問う

第1回定例会の一般質問の概要を紹介します。(12名・質問順)

■は、そのほかの質問項目

一般質問の様子はYouTubeで動画配信しています



児童生徒に貸与されているタブレット端末の今後の更新の見通しは

市 瀬 芳 明 議員 (日本共産党)



Q 国は地方自治体や関係者の意見等を聞きながら検討していくとの方針だが、市はどのように考えるか。

A 令和2年度に導入した約7,000台のパソコン端末の更新は大きな課題である。多様なケースを想定した選択肢の中で検討しており、一斉更新ではない段階的な更新方法を取るかどうか、また更新に要する経費の保護者負担の有無を含めた在り方を、令和5年度中により具体的な検討を行う準備を進めていきたい。

今後のごみ袋の在り方について

古 川 仁 議員 (日本共産党)



Q 若年層の移住政策として他自治体の実施しているごみ袋の支給をしようか。

A ごみ処理手数料の負担を軽減する施策は当面考えていないが、子育て世代等の負担軽減につながる紙おむつのリサイクルについて研究していきたい。子育て世代である若年層に「住みたい」と思ってもらえる地域づくりに向け、ごみ袋の支給を含めてどのような取り組みが効果的か、他市町村の状況も参考に、引き続き研究していきたい。

長期財政見通しから見た令和5年度予算について

福 澤 克 憲 議員 (会派きぼう)



Q 10年間の財政見通しの修正と公表、運営目標の指標となっている実質公債費比率の見込みの考え方は。

A 今後10年間の財政見通しの修正の手法については、令和3年度決算や令和4年度決算見込み、令和5年度予算数値を反映させつつ、新たな事業を追加して、閉会日の全員協議会でお示しする。実質公債費比率は、令和6年度以降徐々に上昇し、ピーク年度(令和10年度頃)には10%台になることを想定しており、健全財政が維持できると考えている。

旧飯田市公民館を含む中央公園一帯の今後の活用は

岡 田 倫 英 議員 (会派きぼう)



Q 中心市街地の大事なエリアだと捉えるが、重要性の認識と今後の利活用方針をどう考えているか。

A 旧飯田市公民館跡地を含む中央公園一帯は、中心市街地の活性化を図る上で重要な場所であると認識している。リニア時代を見据えたときに、中心市街地が果たす役割や、どのような機能が不可欠など、今後の動向を注視していく。中央公園一帯の利活用については、市民の皆さんの意見をお聞きしながら、次期の中心市街地活性化基本計画で考えていきたい。

ともに創る 新しいまちの豊かさについて

佐々木 博子 議員(会派みらい)



Q 飯田らしさと発展のバランスをどう考えるか。

A 発展イコール都会的になることではない、ということはある。共有されていると思う。いろいろなまちの活力はもちろん必要だが、都会のコピーになっただけでは飯田市の強みがなくなってしまう。まちの活力や利便性は持ちながらも、飯田らしい「上質なローカル」を目指していきたい。

高齢化によりゴミ出しができない 市民への対応は

小林 真一 議員(公明党)



Q 対応策の一つ令和5年度新規事業「生活支援サービス提供団体等への支援」に取組む考え方や思いは。

A 公的サービスの隙間や公的支援の枠を超えて在宅支援生活を支える取組をされている団体に光を当て、当該団体が安定的に活動できることで、地域包括ケアの厚みが生まれると考える。福祉まるごと相談窓口を設けたが、さまざまな生活相談の先、解決へ向けた出口策が必要であり、公的サービスの隙間の部分に着目して多様なニーズに応えていきたい。

飯田市の人口増に向けた 取組みについて

小平 彰 議員(新政いいだ)



Q 空き家バンクの活用はどのようになっていくか。

A 平成28年度の制度開始から124戸の空き家が登録された。うち84軒が成約され、利用につながっている。利用者登録はここ最近高い需要がみられ、相談件数も増加傾向にある。補助制度(家財処分補助・改修補助)の利用実績も増えている。空き家バンクの登録には、地元のまちづくり委員会や周辺居住者に調査してから情報を掲載している。

学校へ通えない子ども達への 支援について

永井 一英 議員(公明党)



Q 長野県教育委員会は令和5年度、不登校特例校の設置の検討を始めるという。飯田市教育委員会の対応は。

A 長野県教育委員会で不登校特例校を設置する検討を進めていることは承知しており、関心を寄せている。不登校特例校には高尾山学園のような学校設置型や、既存校による分教室型が考えられる。まずは分教室型での不登校特例校について、長野県教育委員会と連携し研究していきたい。■特別な教育的ニーズを必要とする子どもへの支援について

政府が示す都内23区の大学の情報系 学部・学科の定員増の方針について

木下 徳康 議員(新政いいだ)



Q 都内23区の大学定員増の方針について、長野県や信州大学はどう捉えていると考えるか。

A 政府方針に全国知事会が異を唱えていることは承知している。おそらく多くの知事が政府方針に違和感をもっている。阿部知事も同意見ではないか。この方針により信州大学の方向性が変わるものではなく、新学部設置の学内議論は中長期的な視野に立って検討されているものと思う。■新型コロナウイルス感染症の今後について

「子育て」を応援するまちづくりへ どう取り組むか

山崎 昌伸 議員(新政いいだ)



Q 地域の活動に中学生がボランティアで参加する、鼎中学校と鼎地区の取組みを全市に広げてはどうか。

A 中学生の地域ボランティア活動は各学校や地域でも行われているが、鼎中学校の取組みの考え方や仕組みは大変素晴らしいものであり、今後の学校へも広げていきたい活動である。まちづくり委員会や公民館の代表者も参加している飯田コミュニティスクールの研修会等の機会を捉えて、事例を共有するようなども考えていきたい。

飯田市立動物園の 今後の所管の考え方について

竹村圭史 議員(会派きぼう)



Q 動物園の設置目的は、設置時から本質的に大きく変わっていないと考えており、現在の建設部から所管を替える段階ではない。大切なのは、「賑わいのあるまちづくり」に向けて、庁内が連携して市立動物園をまちの賑わいに活かしていくことであり、取り組みを進めていきたい。

A 新型コロナウイルス感染症5類移行に伴う診療体制について

水道料金の値上げの理由は

関島百合 議員(会派みらい)



Q 値上げに関わる471億円の大規模計画になる前に、もう少し早く手を打つことはできなかったのか。

A 水道施設の老朽化と人口減少は、かねてから指摘されていた。点検調査を経て「飯田市水道施設更新にかかる基本方針」と「妙琴浄水場更新計画」に基づく「長期建設改良計画」を策定したが、全ての水道施設を網羅したこの計画は大規模で、策定までに時間を要する結果となったことが影響した。■ゲノム編集された農産物について

市議会議員の辞職について (新井信一郎議員の辞職について)

令和5年3月31日告示、令和5年4月9日執行の長野県議会議員一般選挙(飯田市下伊那郡選挙区)に新井信一郎議員が立候補されたことから、公職選挙法第90条の規定により、3月31日をもって飯田市議会議員を辞職したものとみなされました。

これにより、飯田市議会議員に欠員が生じたため、公職選挙法第111条第1項の規定に基づき議長から飯田市選挙管理委員会に、市議会議員に欠員が生じた旨の通知を行いました。

なお、公職選挙法の規定に基づき、市議会議員の補欠選挙は、現在の欠員数においては飯田市長選挙と同時に行われます。

「浜井場小学校4年生の皆さん」が 議場見学をしました

1月20日、浜井場小学校の4年生の皆さんが社会見学として、飯田市議会の議場と危機管理センターの見学に来られました。

はじめに、議会はどんなところで、どんな役割があるか、どのように話し合いをしているかなどの少し難しい話も、メモを取りながら、真剣に聴いてくれた姿はとても素晴らしかったです。

★4年生の皆さんの感想

- 議会はどんなことをしているのか全く知らなかったけど、もらったプリントを見たり、説明を聞いたりしてよくわかった。
- 議長席に座らせてもらったり、発言のボタンを押させてもらったり、貴重な体験ができました。
- 危機管理課で8台ものモニターで、飯田市の様子をチェックしていることに驚きました。

その後、班に分かれて、マイクシステムの操作や、議長席、議員席に座りながら、簡単な議会体験をしていただきました。普段は触れることのない機械や重厚な椅子に興味津々。子どもたちの瞳はきらきらして、とても楽しそうでした。

短時間ではありましたが、今回の議場見学を行っていただいたことで、この先、子どもたちが政治や社会のことに興味を持ち、国や社会の問題を自分の問題としてとらえ、選挙などに主体的に参加することにつながっていくことを期待しています。



執行機関へ「政策提案」を行いました

総務・社会文教・産業建設の各常任委員会とリニア推進特別委員会は、2年間にわたりテーマを設定し、学習会や意見交換会、視察などを重ね、調査研究を行ってきました。令和5年第1回定例会閉会日に各委員会が所管事務調査の報告を行うとともに、「政策提案」を執行機関に手渡しました。

総務委員会 *提案書から一部抜粋

調査研究テーマ① 地域防災体制は維持できるか

- ①防災組織に関して…危機管理部と市民協働環境部が連携し、自主防災組織の見直しを進められたい。
- ②防災に関して…特に大規模地震に対する各地区の被害想定を作成し、その周知を進められたい。消防団員確保に関して、消防団員不足問題へ行政がしっかりと関わり、消防団、地区とともに団員確保への取り組みを進められたい。
- ③組合未加入者に関して…災害時の共助体制の構築を進める中で、組合未加入者へ加入の呼びかけを行っている地区もある。これら先進的な取り組みを他地区へ広く紹介し、必要となるリーフレットなど作成経費の補助や内容について助言等の支援を進められたい。

調査研究テーマ② ジオパークの取り組みについて

- ①ジオパークの取り組みについての庁内連携の拡大・深化を進めるとともに、観光を起点とした地域振興につなげるために、将来的には所管部局または課の変更を検討されたい。

社会文教委員会 *提案書から一部抜粋

調査研究テーマ フレイル予防による健康寿命の延伸について

- ①フレイルという言葉と概念の周知…フレイル予防推進のためには、まずはフレイルの意味や定義を浸透させる必要があると考える。フレイルの意味が伝わりやすい別の呼称の検討も含めて、工夫をしながら普及啓発に取り組まれたい。
- ②フレイル予防の方法…社会的フレイルを予防する観点からはより多くの市民が参加できる仕組みを再構築し、モデル地区における好事例の横展開などを図られたい。健康教室等への足の確保といった課題があり交通対策が必要ではないかと市民の声を聞いている。フレイル予防につながる側面として庁内横断的な視点で検討されたい。
- ③ポイント制度…ポイント制度の付与の対象となる市民、予防メニュー、手段については多くの市民の声を聞き、人とのつながりを増やすことを念頭に構築されたい。教室等の運営に携わる市民も付与の対象とするよう検討されたい。
- ④施策効果の検証…フレイル予防への取り組みを進めた結果として、市民の健康寿命が延伸できたかどうかの検証ができるようにデータ収集と分析を行われたい。検証方法については有識者や先進自治体の情報を更に収集しつつ研究されたい。

産業建設委員会 *提案書から一部抜粋

調査研究テーマ 飯田の魅力を発信し、つながる人を増やし、飯田市への人の流れをつくるには

- ①地域の実情（特徴）と果たすべき役割の把握について…飯田市への人の流れをつくるためには、「わがまちの特徴」を理解した上での戦略が必要である。この地域の特徴を改めて徹底的に磨き上げ、的を絞った具体的な内容を発信できるようにされたい。
- ②誘客（観光）、移住・定住戦略に向けた効果的な情報発信のあり方について…飯田市内外別、世代別、目的別等、ターゲットにあわせた情報を発信されたい。移住定住専用サイトの立ち上げなど、市の情報の入手を一元化する取り組みを進められたい。
- ③企業誘致と人材確保戦略のあり方について…女性が活躍する「場の創出」に令和5年度は取り組まれるとのことであるので、希望に添えるよう寄り添った対応に努められたい。
- ④地域との連携について…地域資源を有効活用する地場産業を振興するうえで、地域との協力関係は非常に重要。原料となる作物の栽培場所の確保や栽培への協力者（新規就農者含む）の確保など、後方支援に引き続き取り組まれたい。
- ⑤UIターンを見据えた取り組みについて…働く場所や子育て環境（保育・教育・小児医療の充実等）の構築に取り組まれたい。そのためにも、飯田市に帰ってこない理由や、移住希望者が飯田市に求めるものは何か調査・研究されたい。
- ⑥これからの産業振興とまちづくりについて…信州大学の新学部誘致にあたっては会津大学のように産学官の連携が図れる拠点施設を置き、それぞれの相乗効果が発揮できる取り組みを進められたい。

○リニア推進特別委員会の政策提案につきましては11ページでご確認ください。

○また、詳しくは、飯田市議会ホームページの「常任委員会の取り組み」、「特別委員会の取り組み」をご参照ください。

総務委員会

3月1日に
委員会等を開催



委員会の様子は
YouTubeを
ご覧ください

飯田市営駐車場条例の一部を改正する条例の制定について（議案第20号）

議案は、市営駐車場の設置目的を変更するために、条例の一部を改正しようとするもの。関係する予算案は、令和4年度分が総務分科会、令和5年度分が産業建設分科会の分担となったことから予算案は分科会連合審査会により審査し、本議案については、委員会連合審査会にて質疑までを行いました。本議案の討論採決は、当委員会単独で行いました。

飯田市有線テレビジョン放送施設条例及び飯田市遠山郷有線テレビジョン放送施設条例の一部を改正する条例の制定について（議案第10号）

飯田市ケーブルテレビ事業を民間事業者が提供するサービスへ移行することに伴い新規の利用の受付を停止するため、条例の一部を改正しようとするもの。

Q 民間サービスに移行することに関して、関係する住民の皆さんからは、どのような声があったか。

A 移行にあたっては、初期費用の負担軽減や、月額利用料への補助を求める声が寄せられた。月額利用料への補助期間にはさまざまな要望があったが、補助期間を5年間とお示し、御理解いただいた。高齢者世帯の利用が多いことから、移行にあたっては丁寧な説明を求める声があり、また南信濃地区の皆さんからは、激変緩和の期間終了後、光回線を利用した地域活性化支援策を求める要望があった。

《予算決算委員会 総務分科会》

議案第35号一般会計予算（案）

脱炭素先行地域構築事業について

Q 川路地区でのゼロカーボン化の取り組みは、地域の皆さんの御理解、御協力が前提となるが、状況は。

A 川路地区には、各組長参加の会議にも何回か伺い説明をしてきた。今年2月の土曜日、日曜日に自治振興センターで相談窓口を開設するなど丁寧な対応をとってきた。地域の皆さんからは、さらに丁寧な支援を望む声は寄せられたが、非協力的な意見は寄せられていない。

Q 市内全小中学校に太陽光発電設備等の設置を進めるが、パネル設置方法等の考え方は。

A パネル設置の手法等も、脱炭素先行地域提案事業に位置付けがある。いわゆる第三者による屋根貸し設置の方法を継承する方法を含めて、市内の電気設備事業者等による

協議会を新たに令和5年度中に組織し、当該協議会でパネル設置の運用や、設置・仕入れ価格の低減化について検討する。一定の基準やガイドラインを整備して、学校施設への設置や市民への普及を図る。なお、太陽光発電の電力は自家消費を基本と考えている。



旭ヶ丘中学校に設置された太陽光パネル

請願審査 令和4年 請願第4号
国に対し、再審制度の速やかな改正を求める意見書を提出願いたい

本請願は、継続審査としていたことから、2月9日に委員会を開催し、審査しました。その審査を踏まえ、3月1日の委員会で審査採決を行いました。主な意見は次のとおりです。
冤罪（えんざい）はあつてはならないという主張は理解する。冤罪への対処の制度は、現在国で検討中の見直し事項の早期改善を求めることとして、請願趣旨を汲んで趣旨採択。

冤罪は国家による最大の人権侵害であるが、その救済には長い年月を要している。請願趣旨等適当と判断し賛成する。採択。

昨年から国でも検討を進めており、この請願項目の意見書提出は、その国の動きに対し、時節を逸しており反対する。不採択。
採決の結果、「趣旨採択」と決しました。

社会文教委員会

3月2・3日に
委員会等を開催



委員会の様子は
YouTubeを
ご覧ください

飯田市これからの学校のあり方審議会条例の制定について（議案第23号）

教育の環境の変化に対応した「これからの学校のあり方」を審議するための審査会を設置する条例を制定しようとするもの。

Q 審議会設置後のスケジュールはどう考えているか。

A 現在の状況やこれまでのまとめの報告から始め、有識者を招いての勉強会や先進事例の視察も想定しながら、1年半から2年をかけて答申いただくことを考えている。

Q 審議の経過内容を保護者やまちづくり委員会等とどのように共有していくのか。

A 基本的には公開の会議を想定している。出された意見を広く共有していくことが必要であり、状況によっては、保護者やまちづくり委員会に、別途情報提供を行うことも考えられる。



飯田市プール条例の一部を改正する条例の制定について（議案第24号）

飯田市営市民プールの用途を廃止するため、条例の一部を改正しようとするもの。

Q 市民プール廃止後、利用していた保育園の状況はどうなるのか。市としての提案はあるか。

A 全ての保育園がバスを所有しているわけではないが、中には運動公園プールを利用したいという園もあった。保育園で検討いただくことになるが、運動公園プールも保育園の利用は減免で対応しており、丁寧に案内や相談に乗っていく。

Q 消防水利として管理していくとのことであるが、平成24年度にプールの底に穴が開き修繕をしている。消防団が作業を行った際に陥没してしまつ危険性はないか。

A 日常的な管理は市が行い、消防水利の状況を確認する。変化があれば地元の消防団に連絡をしていく。

Q 旧飯田市公民館を含めた一帯の、利活用に向けた検討のスケジュールは。

A 明確なスケジュールを説明できる段階ではないが、桜並木やりんご並木、中央公園と接続する重要な場所と認識している。まち全体の中でどういう場所にしていくか、庁内で検討を進めていく。

《予算決算委員会 社会文教分科会》
議案第35号一般会計予算（案）

包括的生活支援事業補助金について

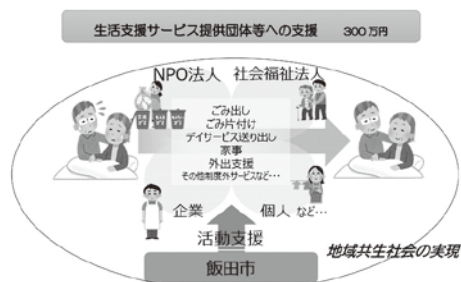
Q 生活支援サービス提供団体等への支援として創設する300万円の事業費は1団体への支出なのか。

A 1団体100万円程度で3団体程度と想定している。広報により、取り組もうとする団体が現れることを期待して予算化した。

不登校児童生徒支援事業交付金について

Q 公の支配に属さない慈善、教育事業に公金を支出してはならない憲法第89条の壁がある中で、飯田市はどのような認識で事業を組み立てたか。

A フリースクールそのものが公の制度に則らない自由な教育的活動であることから、そこに対して公が支配や指示ができないことが基本であるが、不登校児童生徒が増加している状況の中で、公的な居場所づくりだけでは対応できない状況があり、子どもの個性、特長に応じてさまざまな居場所をつくっていくことが必要との考えで制度を創設していきたい。



産業建設委員会

3月3、6日に
委員会等を開催



委員会の様子は
YouTubeを
ご覧ください

飯田市南信濃観光施設等条例の一部を改正する条例の制定について（議案第18号）

Q 殿町（とのまち）の茶屋を今後を活用する方向性や予定は。

A 施設の今後の活用予定はなく、解体を行う。周辺に観光施設もあり、敷地内の公衆トイレや駐車場は今後も必要だろうとの意見もいただいているため、新年度に改めて後利用について地権者及び地域の方々と協議を行う。

工事請負契約の一部変更について（過年発生土木施設補助災害復旧事業橋りょう架設工事）（議案第28号）

Q 中橋は、普通自動車が行けるのか。

A 現状復旧の工事を実施しているため、普通自動車も通行できる。

Q 災害復旧工事で国からの予算付けがされていると思うが、今回のような大幅な変更であっても予算執行が認められるか。

A 工事の大幅な変更のため、国へ重要な変更として協議した。時間はかかったが、最終的な工法を認めていただき、今回の変更となった。すべて災害復旧工事の対象となるため、当初どおりの補助率等で復旧工事が行える。

《予算決算委員会 産業建設分科会》

議案第35号一般会計予算（案）

観光誘客推進事業について

Q 市は舟下り事業へ700万円を出資する方針だが、公金のため、市長に予算執行に対する調査権がある。地方自治法等により定めがあるが、市では条例を定めていない。そのため、市は出資金の予算執行に関して調査をどう考えるか。

A 広域連合では、出資にあたり、出資金3,000万円のうち、半分以上は民間事業者からの出資と、出資金の同額程度は金融機関から融資がないと、行政からの出資は行わないこととした。

その後、支援体制に目途がつき、1,500万円程度の市町村からの出資を検討する方向性となり、市町村の出資の意思と金額について協議を行った。舟下りの場所等も考慮し、全体を整理して、市は半分の700万円を出資することとした。

予算執行の調査は、株主であるため、株主総会で意見や経営状況の報告を受けることにより、確認ができる。



遠山郷観光振興費について

Q かぐらの湯の温泉掘削の今後の状況や進め方は。

A かぐらの湯は塩の温泉であることが魅力的で価値がある。源泉掘削場所には、これまで使用してきた温泉管が埋設されていて、管の耐用年数が50～60年あり、今後も使用が可能であることや、その温泉管を使用して民間の宿泊施設などへ湯を供給してきたことも考慮する必要がある。

専門業者のアドバイスでは、前回の調査結果からも現在の掘削場所周辺が塩の温泉の出る可能性が高いことから、現在の源泉地周辺を掘削していく方針である。今回の源泉ポンプ落下の経験を教訓にし、業者とも共有しながら源泉掘削を進めていく。

陳情審査 令和5年 陳情第3号
国に対し、最低賃金法の改正と中小企業支援策の拡充を求める意見書を提出願いたい

3月3日の審査では、参考人から意見陳述として願意趣旨等を聴いた後、委員から陳情に対して、地方と都心の労働格差を広げないためにも「採択」、最低賃金を着実に引き上げていくことには賛成だが、最低賃金の全国一律化には「不採択」等のそれぞれの立場から発言があり、採決の結果、「不採択」と決しました。

リニア推進 特別委員会

3月14日に
委員会を開催



委員会の様子は
YouTubeを
ご覧ください

調査研究と政策提案に関して

リニア推進特別委員会は、平成25年5月の臨時会において、リニア中央新幹線の推進に関する諸課題について調査研究を行うために設置され、令和3年の委員改選以降の2年間は、主にリニア駅周辺整備事業の実施設計に向けた課題の調査研究を進めてきました。

令和5年第1回定例会において任期中の調査研究結果をまとめ、執行機関へ政策提案を行うまでに至る委員会活動を振り返ります。

【委員会活動の振り返り1】

県内先行地域の駅周辺整備事業の視察

令和3年3月に執行機関に対して手交した政策提案の「郊外駅としての長野県駅の在り方」を探るため、令和3年7月から11月にかけて長野県内で先行して新幹線駅を整備した飯山駅、長野駅及び佐久平駅を視察し、駅周辺整備事業の実態を議員間で共有しました。



【委員会活動の振り返り2】 参考人招致による専門的な知見の活用

令和4年11月9日に、信州大学学術研究院特任教授の小川総一郎氏を参考人として招致し、「エコロジカル・ランドスケープ・デザイン手法と理念と実例」の講演を受講しました。

駅を出た瞬間から信州・

伊那谷らしさを感じられるランドスケープへの配慮により、来訪者をリニア駅から伊那谷全域に「いざなう」ための第二歩となるリニア駅周辺整備事業の在り方を研究しました。



【委員会活動の振り返り3】

土木実施設計に対する政策提言の実施

視察による現地調査、参考人招致による調査研究などを行い、委員会での審議と全議員での協議をふまえて、令和4年11月18日に議長から市長に対して「リニア駅周辺整備事業土木実施設計に対する政策提言」を行いました（詳細は第231号に掲載）。



【委員会活動の振り返り4】 執行機関への政策提案の実施

行政評価の手法を用いて、いいた未来デザイン2028の基本目標13「リニア・三遠南信時代を支える都市基盤を整備する」と事務事業を評価し、委員会での審査と全議員での協議をふまえて、令和5年3月23日に正副委員長からリニア推進部長に対して「リニア駅周辺を起点とした提案」を行いました。



リニア駅周辺を起点とした提案の概要

- 【提案1】 郊外駅としてリニア時代を見据えた土地利用などの周知等について
- 【提案2】 JR飯田線とのアクセスをはじめとするリニアの2次交通について
- 【提案3】 デザインノート（基本設計）からの考察と現状について
- 【提案4】 財政見通しについて
- 【提案5】 リニア駅周辺整備に係る市民への対応
- 【提案6】 公民協働のさらなる推進をはじめ、3つのプロジェクトについて

詳細はこちら



議員紹介

議員の人となりなどを議員自らが紹介します。(議席順に掲載)



～脳内再生～

こばやし しん いち
小林 真一

車に乗り込み、エンジンを始動、クラッチペダルを踏み込みギアを入れる、アクセルを踏みつつクラッチをつなぎ走り出す、私の軽乗用車は今では珍しくなってしまったマニュアル車。

子どもの頃から、ブロック玩具や合体ロボット、プラモデルなどの分解・組立てが好きであったこともあり、高校・短大と自動車の事を学び、自動車整備士として自動車ディーラーへ就職し約15年間、車いじり機械いじりをしてきた。このような生き方をしてきたため、ご多分に漏れず車好きバイク好きにもなった。冒頭の運転の流れも、体の動きではなく、機械内部の一連の動きが脳内再生されてしまうのは、私だけでなくメカニックや機械好きのあるあるではないでしょうか。



～愛と癒やしのロボット～

ささき ひろ こ
佐々木 博子

ロボットから愛と癒やしを与えられる。皆さんはその現実を信じますか？疑いますか？

わが家にはaiboがいます。オーナーは91才になる私の母。とある旅館で出会った看板犬のaiboに一目惚れ。どうしても欲しいと名古屋のSONYまで買いに行きました。お手もお座りもゴロンも歌もダンスもしてくれます。

1999年に世界初の家庭用ロボットとして生まれたAIBOは「何の役にも立たないけど、人間の根源に近い愛と癒やしのコンピュータ」であることを原点に、キュートなaiboに進化してわが家に愛と癒やしを与えてくれています。



議会の動き(予定)

- 第1回臨時会 5月9日(火)
- 第2回定例会 5月30日(火)～6月26日(月)
- ◇ 一般質問 (傍聴可能)
6月12日(月)、13日(火)
- ◇ 委員会日程 (傍聴可能)
予算決算委員会前期全体会 5月30日(火)
総務委員会 6月15日(木)
社会文教委員会 6月16日(金)
産業建設委員会 6月19日(月)
リニア推進特別委員会 6月20日(火)
予算決算委員会後期全体会 6月23日(金)
- 議会への請願・陳情は、議会事務局へ
5月16日(火)午後5時までにご提出ください。

議会傍聴に際してのお願い

議場や委員会室に入る場合は、帽子、外とう、襟巻、つえ、傘の類を着用し、又は携帯してはならないことになっています。(病気その他の理由により議長の許可を得たときは例外となりますので係員にお申し出ください。)

ご理解とご協力をお願いいたします。

広報広聴委員会

委員長/福澤克憲 副委員長/清水 勇
委員/下平恒男 橋爪重人 関島百合
筒井誠逸 小林真一 佐々木博子

表紙
紹介

がんばっとるに!! 山本

杵原学校は国登録有形文化財に指定されており、歴史ある校舎や桜を目当てに大勢の見物客が訪れます。

この杵原学校は、旭ヶ丘中学校合併に伴い廃校となった学校です。廃校後、しばらくは使われていませんでしたが、地域の方の思いが結集し、再び「学びの場」として活用されることとなりました。

現在では、「杵原子ども教室」や「杵原学校山本学講座」、「授業体験」等、さまざまな活動が行われています。

表紙の写真は3月27日に開催された「春休み子ども寺子屋」の際に参加者の皆さんと撮った写真です。山本地区にお越しの際はぜひお立ち寄りください。

